
札幌大橋床版工事がボランティア活動を実施

札幌大橋床版工事作業所（助安 直樹 所長/櫻井千田JV）は、8月5日～17日にかけて、当別町の西当別小学校にて職員計10名で児童玄関や擁壁の補修、舗装の摺り付けなどのボランティア活動を実施いたしました。

同小学校は、経年の地盤沈下により施設が影響を受け、児童の安全確保に様々な支障をきたしており、当別バイパス事業で長年お世話になっている地域に何か恩返しをしようと、今回のボランティア活動を実施いたしました。

